

2019年、金城学院は
創立130周年を迎えます。

多彩な事業を開催し、130周年を祝福
先人の教えを胸に
新たな未来へ

アメリカ人宣教師アニー・ランドルフ先生が金城学院の前身となる「女学専門冀望館」を設立し、聖書の教えに基づいて名古屋の女性に知識と技能、感性、徳性などを教える全人教育を行われてから130年。女性の権利と責任、社会や世界平和への貢献を説かれた先生の思いが連綿と今に受け継がれ、金城学院は2019年に学院創立130周年を迎えます。さまざまな事業を通じて、皆様と一緒に130周年を祝いたいと願います。



学校法人金城学院
戸 莉 創 理事長・学院長

130周年に向けての
想いとご挨拶

金城学院は1889年、アメリカ人宣教師アニー・ランドルフ先生が私費を投じて設立した「女学専門冀望館(きぼうかん)」からその歴史が始まりました。そのころ、日本はまだ女性教育に対する社会的認識が低い時代でしたが、アニー・ランドルフ先生は福音主義キリスト教に基づく女子教育を展開。先生の意思を継いだエラ・ヒューストン先生も生涯を通して神と人に仕える全人教育を行われ、生徒たちに“you must have

dignity”と教えられました。先生方が撒かれた小さな種は今も脈々と受け継がれ、学院では今日、幼稚園、中学校、高等学校、大学、大学院を擁し、学生や生徒、園児約7,400人がいきいきと学んでいます。また、卒業生は延べ14万3千人を超えています。

金城学院は先生方の教えを礎に、今後もこの「福音主義キリスト教に基づいた品格のある女性」「自ら課題を発見し、解決できる女性」「国際理解を持った女性」を3本柱として、社会に貢献できる女性を育成して参ります。この度の130周年を機に“Dignity&Humanity”を合言葉とし、具



金城学院高等学校 栄光館の講堂

130

Dignity & Humanity

KINJOGAKUIN ANNIVERSARY 2019

キリスト教の精神に立つ「人間の尊厳」と「博愛」を意味する言葉を金城学院創立130周年のメッセージとして制定。「愛に満ちた品格ある女性の育成」という金城学院の教育の原点を伝えます。ロゴデザインは、中央に白百合をあしらった校章を用い、クラシカルな書体としなやかさのある書体を組み合わせることで、確かな足どりで躍動していく、明日の金城学院の姿を示しています。



金城学院創立130周年記念特設サイト
<http://www.kinjo-gakuin.jp/130/>
学院創立130周年を記念して計画した
さまざまな事業を今後掲載していく予定です。
是非ご覧ください。

体的なアクションプランの基に品格を備えた女性を育てていきたいと考えています。

130周年を記念して さまざまな事業を計画

金城学院では130周年を迎えるにあたり、さまざまな事業を行っていく予定です。2020年～2024年の5年間の中長期計画を策定し、学院の教職員の結束力をより高めながら本計画を推進していきます。

さまざまなイベントも実施される予定です。2019年10月5日には周年を記念した大学

ホームカミングデーを開催し、同窓生を大学に招待して親睦を図ります。各学科の同窓生にもお声がけを行い、例年より規模を拡大して行う予定です。10月12日には周年記念式典の開催を予定、第3期中期計画の説明などを行います。10月26日には中・高のホームカミングデーを開催する予定となっています。また、時期は未定ですがチャリティーコンサートや高校と大学でのオルガンコンサートなども計画をしています。また創立130周年記念誌の発行、2021年開設予定の学院資料室、分室(高校)の準備、大学新校舎の建設などさまざまな事業も行っていきます。



新校舎E1棟 完成予想イメージ(2018年11月時点)